

2005.9.29

OSSJ2005 年度第三回理事会 (2005 年 9 月 29 日) 議事録

事務局

出席者：小碓理事、澤田理事、高橋理事、能登理事、山田理事、三田 (理事)、
 (委任状) 足立会長、榎本理事、木ノ下理事、中村理事、新部理事、林理事、樋口理事
欠席：大塚理事、杉田理事

1 報告事項

(1) 相互に賛助会員として登録 (事務局)

有限責任中間法人 IT 記者会 AFITS (代表 佃 均 氏)

すでに協会としては (理事会で了解をえて) ホームページ上に記載している。今回は、先方が (登記完了したとのことで) 正式に決定。

資料：IT 記者会 AFITS (代表 佃 均 氏) よりの挨拶状

(2) OSSAJ 主催ミニセミナー (勉強会) 開催予定 (能登理事)

2005 年 10 月 13 日 (木) 1530 ~ 1800

「大学教育教材として開発した OSS (Sabaphy) の紹介と今後の展開」

資料：メールによる案内状。

(3) UCSC (オープンソースコンファレンス) の報告 (高橋理事、小碓理事)

小碓理事、高橋理事、林理事が参加

「土曜日の開催だったが、1,000 人を越す来場者あり。なかなか盛況だった」旨の報告あり。
来年からは 4 回 / 年、になるとのことで、時期がきたら対応を協議。

資料：高橋理事よりの報告メール。

(4) 熊本における「IT 経営応援隊」活動の支援について (事務局)

11 月初旬開催のセミナーへの講師派遣について

入門編で 林 香 氏、鈴木重徳氏、事例編で湯澤一比古氏が講師となることで日程調整。
了承。

(5) (財) 日本情報処理開発協会主催の情報化月間祈念講演会のご案内 (事務局)

IT 記者会 AFITS より案内。集客の協力依頼あり。

10 月 3 日 (月) 開催ということで、会員にご案内。

資料：案内。

(6) IT 記者会 AFITS より講演のご案内 (事務局)

10 月 11 日 (火) 開催の FIIF 外資系情報産業研究会 / IT 記者会 AFITS 共催。

当協会が「協力」団体となっている。

資料：案内。

(7) OSS ビジネスモデル部会の準備会合に関する報告 (小碓理事)

資料：活動案

(8) 小碓理事より報告

「UCSC & IOT 奇兵隊」の名称で OSS ビジネスモデル部会の活動となんらか連動させていきたい

旨の報告。

資料：開催案内および要旨

(9) 『LINUX オープンソース白書 2006』刊行のご案内 (樋口理事)

樋口理事より『LINUX オープンソース白書 2006』が刊行されたので、希望者には割引価格で手配できる可能性あり、との連絡。

(10) 会員状況および入金状況 (能登理事)

正会員：62名

一般会員：62名

賛助会員：7社 (機関)

協力団体：7機関

2 審議事項

(1) 「IT 経営応援隊」セミナーの講師派遣についての事後のご了解

本日 (9/26) 現在、主催する熊本ソフトウェア (株) の担当者とのあいだで、

第一回 11月1日 (火) 林 香 氏 + 鈴木重徳氏、

第二回 11月2日 (水) 湯澤一比古氏

で調整できつつある。(10/5 現在、上記日程で確定)

(2) 「ビジネスモデル」部会の準備会合の経過報告と今後について

第一回 8月11日 (木)

第二回 8月31日 (水)

討議の内容のご報告 (小碓理事) と今後の方向性についての討議。

澤田理事より、地方自治体において今後 OSS の利用が必須になるものと思われるので、当協会からなんらかのメッセージを継続的に出していくことの意義についてご提案あり。

「地方自治体向け OSS 部会 (仮称)」のような部会を協会内部におくこととし澤田理事にその中心的役割を果たしていただくこととする。この活動には、小碓理事、三田が協力することとする。

可及的速やかに活動を開始すべく準備を進める。

(3) IPA などの公募事業への応募に関する件

会員 (の所属する) 企業が IPA の公募事業に応募する際に協会としてできる支援の問題、ならびに協会の名前で応募することの是非ないしは可否について、基本的な考えかたの整理をしておきたい。

継続。正式決定までは会長、副会長、事務局長および代理の執行部で処理する。

(4) OSSAJ の後援、協賛、協力などの名義要請への対応の件

基本的なルールなどについての討議。

継続。正式決定までは会長、副会長、事務局長および代理の執行部で処理する。

(補足)

10/4 足立会長上京のうちに上記内容をご報告ならびにご説明。了承をいただく。

以上